

J-SEMS.SD&QDA体験版

株式会社メディア・アイ

2017年10月版

I. SD の実施

ホーム画面で SD アイコンをタップ、SD 設定アイコンをタップして、SD 設定画面を表示します。SD 設定画面は、「画面作成」(条件設定)の機能があります。

1. SD の条件設定

検査実行時の形容詞対、尺度設定、パネル・試料・繰り返し数設定、オプション、パネル表示を設定します。

1) 設定する条件

a) 形容詞対名設定

SD 法で測定する形容詞対名を設定します。

b) 尺度設定

SD 法を実施する入力形式と尺度数を設定します。

c) パネル・試料・繰り返し数設定

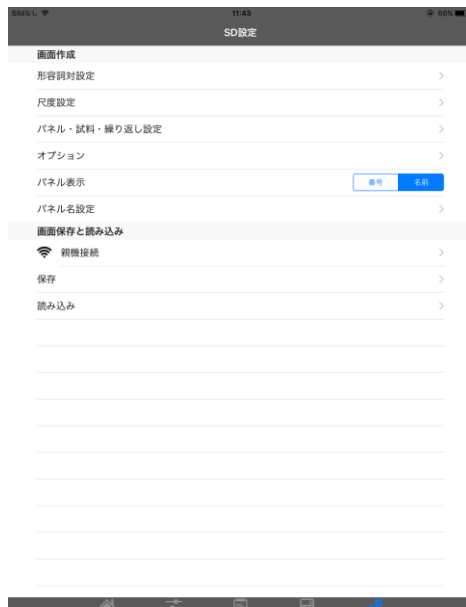
パネル、試料、繰り返しの数を設定します。

d) オプション設定

形容詞を上下あるいは左右に並べ替え、尺度の表示を設定します。

e) パネル表示

パネルを番号あるいは名前を表示かを設定をします。



2) SD の各条件の設定と保存

2-1) 形容詞対設定

形容詞対設定を選択すると、登録済みの形容詞対一覧が表示されます（初期状態では形容詞対が登録されていないため、表示されません）。

a) 形容詞対の登録と編集

画面右上の「編集」ボタンを押すと、編集画面になります。左上の「+」を押すと、⊖ボタンが画面に表示され、形容詞対を追加することができます。当該行⊖と≡を除く任意の位置を押すと形容詞対設定画面が表示されます。なお、登録できる形容詞対数の上限は、32 です。

形容詞対設定画面では、以下の項目を設定できます。

① 形容詞名

右左に表示する形容詞対名です。

片側のみ指定して単極尺度とすることもできます。

② 因子グループ

①の形容詞対を似ているもの同士でグループ分けし、グループ1に属すると思われる形容詞は因子グループ1とし、グループ2に属すると思われる形容詞は因子グループ2とするというように指定します。これは、形容詞対をランダムイズ対象オンにする場合（「3-4」オプション）を参照して下さい）、同じグループに属する形容詞対が隣り合わないようにするためです。

b) 形容詞対を削除

形容詞対設定画面右上の編集ボタンをタップすると、編集画面になります。

削除したい形容詞対の左側の⊖をタップすると、形容詞対の右側に「削除」ボタンが表示されます。削除ボタンをタップし、確認メッセージの「はい」をタップすると、当該形容詞対が削除されます。削除しないときは、いいえをタップしてください。終了時には、右上の「完了」をタップして下さい。



2-2) 尺度設定

線尺度または段階尺度の指定ができます。尺度数は、3,5,7,9の4通りです。設定した尺度数の数だけ、尺度の強さの程度を示す副詞（非常に、やや、など）

を設定するための四角のボックスが表示されますので、そのボックスの中に、適宜、副詞を書き入れます。

なお、副詞を表示したくない場合は、ブランクのままにします。

また、線尺度の場合は、尺度数を3にします



2-3) パネル・試料数・繰り返し数を設定

試料の数、パネルの数、繰り返しの数を設定します。

なお、検査開始後に、最初に設定した試料、パネル数、繰り返し数を増やす必要が生じた場合は、この試料・パネル・くり返し設定画面に戻って、それらの数を増やし、同じ検査名で上書き保してから、その検査名を読み込み、実施することにより可能です。



2-4) オプション

形容詞を上下に並び替えるときは、上下をオンにします。形容詞を左右に入れ替えるときは、左右をオンにします。形容詞対のランダム化対象でオンとした形容詞対が対象です。ランダム化対象でオフとした形容詞対は上下も左右も回答に表示される上下、左右の位置は変わりません。尺度の表示、非表示を指定します

（尺度の強さの程度を示す副詞（非常に、やや、など）の表示、非表示の指定ができます）。



2-5) パネル表示

パネルの表示を番号か名前かを設定します。

番号の時は番号を、名前の時は名前をタップします。名前がタップされるとパネル名設定が表示されます。パネル名設定をタップすると名前設定画面が表示され



ます。

画面の右上の編集をタップすると名前編集画面になります。

a) 名前の登録と編集

右上の「編集」を押すと、左上に+ボタンが表示され、これを押すと、名前を追加することができます。

名前のボックスに直接パネルの名前を入力することができます。



b) 名前を削除

名前設定画面を表示して⊖ボタンをタップすると、「削除」ボタンが表示されます。

削除ボタンをタップすると削除確認のメッセージが表示されます。「はい」をタップすると削除されます。「いいえ」は削除されません。

c) 名前を移動


移動したい名前の右側の「≡」を選択し、上下にドラックすると、名前の順番を変更できます。

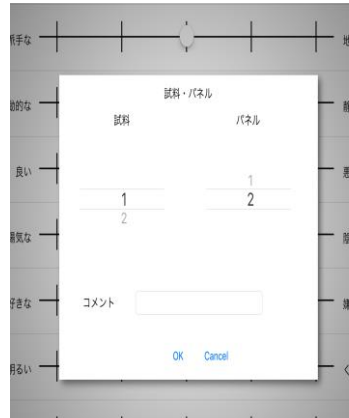
終了時には右上の「完了」をタップしてください。

2. SD 検査実施

SD は以下の手順で実施します。

b) 試料・パネル・繰返し選択

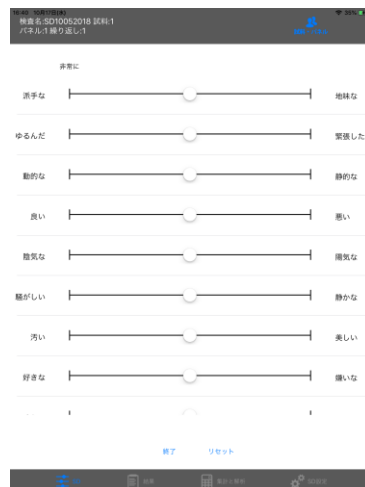
画面下の SD  実行を選択し、画面右上の試料・パネル・繰返しを選択します。表示された画面で、これから実施する SD のパネル番号、試料番号、繰返し（何回目か）を選択します。



c) 検査実施

線尺度では、○ボタンを当該位置まで動かします。段階尺度では、当該位置の○ボタンを押します。リセットを押すと線尺度では○ボタンの位置が初期の位置に戻ります。段階尺度では●が初期値の○に変わり初期化されます。

なお、続けて検査を行う場合には、b) 試料・パネル・繰返し選択を行い、続いてc) 検査実施を行います。



d) 検査結果の保存

検査終了時に終了ボタンを押すと以下の画面が表示されます。「はい」を選択すると、子機に検査結果が保存されます。既に保存されているデータファイルとパネル番号（パネル名）、試料名・繰返しが同一であるとデータファイルは上書きされます。「いいえ」を選択すると結果は保存されません。



3. 検査結果の表示

1) SD 検査名の表示

ホーム下の「SD 結果」のアイコンをタップしてください。

結果の検査名一覧が表示されます。検査名とは親機に保存されたSD条件の名前です。

2) 結果の一覧表示

検査名をタップすると試料、パネル、繰り返し別の検査結果が表示されます。

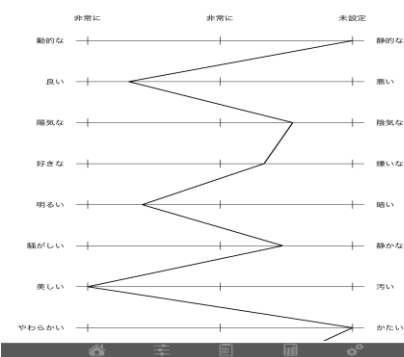


3) 詳細結果の表示

表示された結果一覧表の当該検査結果をタップする

と検査の結果をグラフで表示します。

縦に形容詞対名の種類が表示され、横軸が尺度を表示します。



・ QDA の実施

ホーム画面で QDA アイコンをタップ、 QDA 設定アイコンをタップして、QDA 設定画面を 表示します。QDA 設定画面は、「画面作成」(条件設定)と「画面保存と読み込み」の機能があります。

1. QDA の条件設定

特性表現用語設定、試料・パネル・繰り返し数設定、オプション、パネル表示を設定します。

1) 設定する条件

a) 特性表現用語設定

QDA 法 で測定する特性表現用語を設定します。

b) 試料・パネル・繰り返し数設定

試料、パネル、繰り返しの数を設定します。

c) オプション設定

入力形式、尺度数、特性表現用語をランダムに提示するか否かを設定します。

d) パネル表示

パネルを番号あるいは名前が表示かを設定します。



3) QDA の各条件の設定

3-1) 特性表現用語設定

特性表現用語設定を選択すると、登録済みの特性表現用語一覧が表示されます（初期状態では特性表現用語が登録されていないため、表示されません）。

a) 特性表現用語の登録と編集

画面右上の「編集」ボタンを押すと、編集画面になります。左上の「+」を押すと、⊖ボタンが画面に表示され、特性表現用語を追加することができます。当該行⊖と≡を除く任意の位置を押すと評価用語設定画面が表示されます。なお、登録できる形容詞対数の上限は、16です。

評価用語編集画面では、以下の項目を設定できます。

① 特性表現用語

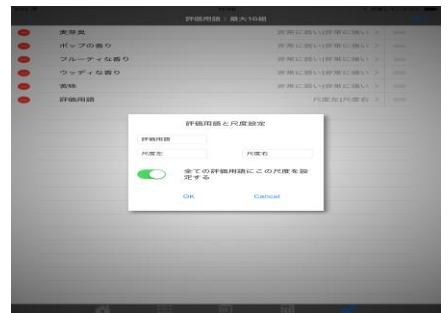
左上のボックスに特性表現用語名を入れます。

② 尺度左、尺度右

左右のボックスに強度を表す形容詞を入れることができます。不要であれば、空欄のままにしておきます。

③ 全ての評価用語にこの尺度を設定

全ての評価用語をこの尺度の対象とするか否かを指定します。



b) 特性表現用語を削除

特性表現用語設定画面右上の編集ボタンをタップすると、編集画面になります。

削除したい特性表現用語の左側の⊖をタップすると、特性表現用語の右側に「削除」ボタンが表示されます。削除ボタンをタップし、確認メッセージの「はい」をタップすると、当該特性表現用語が削除されます。削除しないときは、いいえをタップしてください。終了時には、右上の「完了」をタップして下さい。



3-2) パネル・試料数・繰り返し数を設定
試料の数、パネルの数、繰り返しの数を設定しま
す。

なお、検査開始後に、始めに設定した試料、パネル
数、繰り返し数を増やす必要が生じた場合は、この
試料・パネル・くり返し設定画面に戻って、それら
の数を増やし、同じ検査名で上書き保存してから、
その検査名を読み込み、実施することにより可能で
す。



3-3) オプション

特性表現用語をランダムに提示の設定ができま
す。



3-4) パネル表示

パネルの表示を番号か名前かを設定します。

番号の時は番号を、名前の時は名前をタップします。

名前がタップされるとパネル名設定が表示され

ます。パネル名設定をタップすると名前設定画面が表示されます。

a) 名前の登録と編集

名前設定画面を表示して右上の「編集」を押すと、
⊖ボタンが画面に表示され、中央に名前のボックスが表示されますので、そこに直接名前を入力することができます。

b) 名前を削除

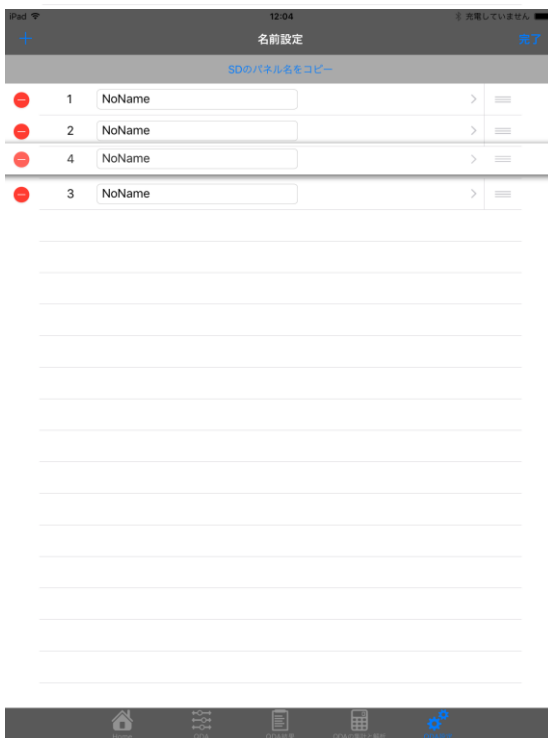
名前設定画面を表示して⊖ボタンをタップすると、「削除」ボタンが表示されます。

削除ボタンをタップすると削除確認のメッセージが表示されます。「はい」をタップすると削除されます。「いいえ」は削除されません。

c) 名前を移動

移動したい名前の右側の「≡」を選択し、上下にドラックすると、名前の順番を変更できます。


終了時には右上の「完了」をタップしてください。

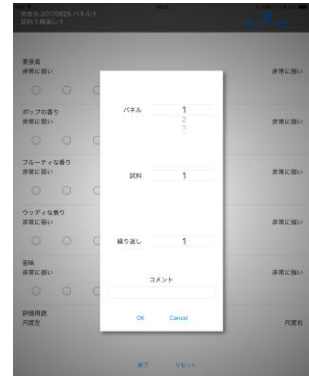


2. QDA 検査実施

QDA は以下の手順で実施します。

b) 試料・パネル・繰り返し選択

画面下の QD  実行を選択し、画面右上の試料・パネル・繰返しを選択します。表示された画面で、これから実施する QDA のパネル番号、試料番号、繰り返し（何回目か）を選択します。

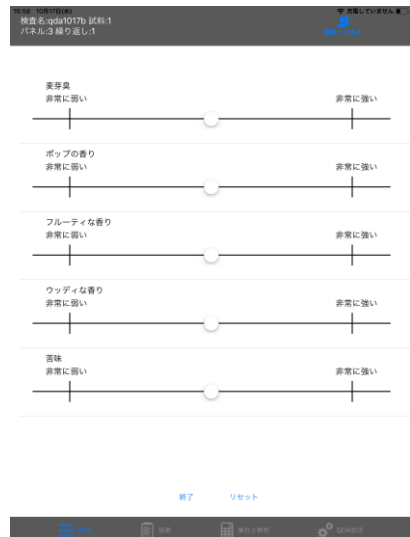


c) 検査実施

○ボタンを線尺度の当該位置まで動かします。

リセットを押すと○ボタンの位置が線尺度の初期の位置に戻ります。

なお、続けて検査を行う場合には、b) 試料・パネル・繰返し選択を行い、続いて c) 検査実施を行います。



3. 検査結果の表示

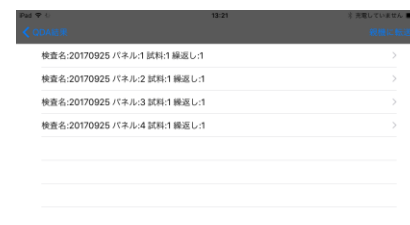
1) QDA 検査名の表示

ホーム下の「QDA 結果」のアイコンをタップしてください。

結果の検査名一覧が表示されます。検査名とは親機に保存された QDA 条件の名前です。

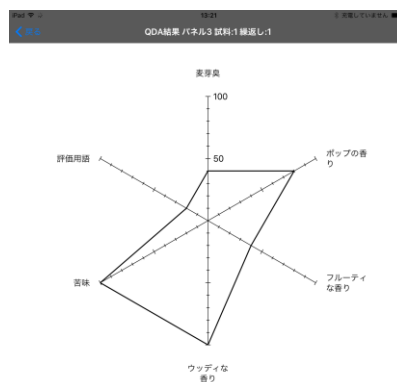
2) 結果の一覧表示

検査名をタップすると試料、パネル、繰り返し別の検査結果が表示されます。



3) 詳細結果の表示

表示された結果一覧表の当該検査結果をタップすると検査の結果をレーダーチャートで表示します。測定結果の平均値が各特性表現用語の軸上に表示されます。



QDA 法、QDA 法については、弊社発行の書籍「製品開発に役立つ感性・官能評価データ解析 -R を利用して-」 ISBN978-4-9907809-1-3 で解説しています。